

～枕崎市教育委員会だより～



TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

「やりきった！ 感動した！」

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

11月も後半に入り、日中の気温が15℃前後の日が増えてきた。残暑が厳しく、長かったことから、秋らしさがほとんど感じられないままに季節は晩秋から初冬へと向かっている。

ところで、11月は文化的な行事の多い月だった。特に学校関係では、各小・中学校の文化祭や学習発表会、「市学校音楽祭」、地域関係では「市総合文化祭市民芸能祭」や「郷土芸能大会」等が行われた。

その中でも、子供たちが主役の市学校音楽祭は、市内の小中学校8校から代表学年の児童生徒が、合唱・合奏の練習の成果を発表する本市の伝統的な行事である。昨年度まではコロナ禍で観客は少なかったが、今年度は、観客席が保護者や祖父母、来賓で一杯になるくらい多くの方々に参観していただいた。児童生徒、引率の教職員の参加者は、合わせて約320人くらいで、観客まで加えると600人を超えていた。どの学校も一生懸命に練習を重ねてきた様子が思い浮かぶくらい、真剣な眼差しで指揮者に注目し、丁寧に演奏や合唱をしていた。発表した後の子供たちの顔は、ほっとしているようだったり、「やったぞ」という、これまでの長い練習の成果に満足したりしている表情も見取れた。

学校音楽祭の最後を締めくくる恒例の「枕崎市民歌」合唱になると、子供たちの大きな声が市民会館ホール一杯に響き渡った。昨年までは、このまま終わる「市学校音楽祭」だったが、感動がさらに高まったのはここからだった。審査員の校長先生(音楽専門)が講評を終えた後、「もう1回、枕崎市民歌を歌おう」と呼びかけ、小節ごとに子供たちに歌わせながら、ポイントを押しえた指導を加えると、子供たちの歌は見違えるように変容していった。さらに観客の起立も求め、子供たちと観客の大合唱が始まり、感動は最高潮に達した。確かに枕崎の子供たちは枕崎市民歌が大好きで、毎年、大きな声で元気よく歌ってきたが、こんなにも盛り上がり、感動的なフィナーレは初めてだった。そして審査員の校長先生のわずか数分の指導が、子供たちの歌を変え、観客にも感動を与えたことに改めて感謝することだった。

学校音楽祭が終わり、会場を後にする子供たちの会話を聞いていると、「今まで、昼休みや放課後に練習してきてよかった」や「うまく歌えた。よかった。ああ！やりきった」、「枕崎市民歌は、やっぱりいい歌だね。最後、楽しかった」など満足感や成就感に満ちた声が聞こえてきた。また、このような子供たちの姿を見た観客からは「歌声がすごく心を温かくしてくれた。とても感動した」と笑顔で感想を述べていた。

これからも子供たちが満足感や成就感を得られるように、学校と協力・連携し、「一行事一改善」を念頭に市教委行事の推進に努めていきたい。

12月の行事予定

日	曜	行 事
1	日	ふるさと美化活動(立神, 別府校区)
2	月	図書館休館日
3	火	市特別支援学級担当等研修会③ 桜山高齢者市外研修・中生連常任委員会②
4	水	
5	木	市養護教諭研修会④
6	金	県PTA大会実行委員会⑥ 南薩地区コアティチャーネットワークプロジェクト会議・よりよい授業づくりに向けた研修担当者研究会(知覧文化会館)
7	土	令和6年度鹿児島県PTA研究大会・県PTA活動研究委嘱公開(市民会館)
8	日	ふるさと美化活動(金山, 桜山, 枕崎校区)
9	月	図書館休館日・市民大学講座③
10	火	社会教育功労者選考委員会 青少年健全育成表彰選考会
11	水	地区館連絡会⑨・すくすく講座
12	木	特別支援学級合同学習会② 南薩地区専門高校フェスタ(南さつま市民会館他)
13	金	第3回枕崎市図書館協議会 二十歳のつどい実行委員会④
14	土	土曜授業
15	日	家庭の日・市民会館休館日
16	月	図書館休館日・市民大学講座④
17	火	
18	水	望ましい学校づくり審議会
19	木	市校長研修会⑦
20	金	市民あいさつ運動・教育総合会議 市民大学講座⑤
21	土	青少年育成の日・そまらずし作り(別府校区)
22	日	
23	月	図書館休館日・2学期給食終了
24	火	小・中学校終業式 鹿児島市の未来を担う青少年の志を育む事業全体研修会(～26日)
25	水	冬期休業(～1/7)
26	木	図書館整理日・二十歳のつどいハーサル いじめ問題子供サミット レッツ・エンジョイ・イングリッシュデイ・スピーチ大会
27	金	仕事納め
28	土	地区館休館日
29	日	市民会館・地区公民館・図書館休館日
30	月	市民会館・地区公民館・図書館休館日
31	火	市民会館・地区公民館・図書館休館日

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日(金)から11月7日(木)まで地域が育む「かごしまの教育」県民週間とし、各小・中学校が特色ある教育活動に取り組みました。

この県民週間は、期間内に多くの方々に学校を訪問していただき、学校や子供たちの様子を見ていただくことにより、これからの「鹿児島の教育」について共に考えていただくことを目的に実施されました。多くのご訪問、ありがとうございました。



立神小: 昔の暮らし体験の様子



立神中: 文化祭の様子

枕崎市学校保健研究協議会

11月14日(木)、サン・フレッシュ枕崎で令和6年度枕崎市学校保健研究協議会を開催しました。

講師として県教育庁保健体育課の永田悦子指導主事を迎え、「学校・家庭及び地域社会が連携した学校保健活動」について講演いただきました。併せて、本市健康課による『高血圧ゼロの街 枕崎』プロジェクトについての紹介もありました。



研究協議会の様子

会場には、各校種の関係者や保護者の方々が集まり、互いに交流を深めながら、学校・家庭及び地域社会が連携した学校保健の在り方について、改めて考えるよい機会となりました。

枕崎市小学校陸上記録会

10月30日(水)、塩浜グラウンドに市内4小学校の5・6年生が集まり、市小学校陸上記録会が開催されました。60mハードル走、100m走、800m・1000mの



陸上記録会の様子

長距離走、400mリレーと全員種目「3分間なわとび」、参加した全ての子供たちが主役となり、力の限り競技する姿が見られました。応援席からも、仲間を励まし、背中を押す力強い応援が聞こえました。

会場には、例年にもまして多くの保護者や地域の方が応援にかけつけ、一生懸命に競技する子供たちへ温かい声援を送る姿が見られました。天気にも恵まれ、すばらしい陸上記録会となりました。

南薩地区学校給食展

11月10日(日)、枕崎市市民会館で南薩地区学校給食展が開催されました。

この給食展は、南薩地区学校栄養士協議会の主催で、児童生徒や保護者、地域の方々に学校給食の重要性について理解してもらい、食生活の改善を図ることを目的に南薩4市の輪番で毎年開催されています。

当日は枕崎市総合文化祭も開催され、300人を超える参加があり、南薩各市の特産品を使用した学校給食の実物展示に興味深く見入ったり、栄養教諭の説明を熱心に聞いたりする姿が見られました。特に箸の持ち方教室やかつお節削り体験のブースは多くの親子連れで賑わっていました。



学校給食展の様子

枕崎市学校音楽祭

11月19日(火)枕崎市市民会館大ホールにて、枕崎市学校音楽祭が行われました。市内全ての小・中学校による発表を、児童生徒同士が鑑賞するとともに、多くの来賓や保護者、地域の皆様にご覧いただきました。各学校の練習の成果が十分に発揮され、伸びやかな歌声と合奏がホール中に響き渡り、感動的な音楽祭となりました。



学校音楽祭の様子

音楽祭のフィナーレでは「枕崎市民歌」を全員で合唱し、会場全体が一体感に包まれました。

来年度も地域、保護者の皆様のご来場をお待ちしております。

多様な子供たちを尊重する教育～特別支援教育～

特別支援学級にまつわる誤解

○ 特別支援学級に入ると、高校に行けない。

→ 特別支援学級は、個別に最適な学びの場を提供する学級であり、進路の幅を狭める場所ではありません。所属することで、入試に不利になることはありません。

それを示すデータとして、令和5年度の鹿児島県の特別支援学級に所属する生徒の7割が高校へ進学しており、進路先として高校を選択することが可能です。ただし、進路先については、本人の心情や適性を考慮し、十分に学校と話し合った上で決定するようにお願いしています。

○ 特別支援学級に一度入ると、戻ることが難しい

→ それはありません。適切な学びの場については、毎年検討しており、学びの場を通常の学級に変更したケースも多く見られます。ただし、学びの場を変更する際は、学校、保護者、本人全てが納得できるように、十分な話し合いをお願いしています。